

能を知る
愉しみ

能楽体験講座



そうだ！『鶴亀』を謡ってみよう

謡本はその昔、寺子屋の教科書にもなっていました。謡の稽古をすると観能の時に言葉が聞き取れるようになります。まずは体験！そして勇気を出して桧舞台に上がってみよう！

日時：2019年5月9日、6月13日、7月4日、8月1日、9月12日
木曜日全5回 正午～13時30分

場所：眞謡会田端教室稽古場
(東京都北区田端3-21-5)

定員：先着10名

講師：加藤眞悟(観世流能楽師)

参加費：20,000円(5回)

教材費：3,950円〈観世流初心謡本(上)五番綴〉

持ち物：白足袋、扇(お持ちの方)

講師：加藤眞悟(かとうしんご)

昭和33年生まれ。日本大学文理学部哲学学科卒。故二世梅若万三郎及び三世梅若万三郎師に師事。観世流準職分。日本能楽会会員(重要無形文化財能楽の保持者)。在学中に現梅若万三郎師に師事し、昭和62年能楽養成会教程終了。同年より梅若研能会例会にてシテを勤める。平成25年新作能『将門』(梅若万三郎監修、小林保治作)、26年『真田』・28年『伏木曾我』・31年『虎送』(共に梅若万三郎監修)の復曲能の制作に携わり初演のシテを勤める。平成11年より毎年「明之會」を開催する。「眞謡会」を主宰して愛好者に謡仕舞の指導をしている。



講座内容

※日程は公演などの都合により変更する場合があります。

日程	お話(30分)	謡の実習(30分)	型の実習(30分)
第1回 5/9(木)	○知る愉しみ ・能の歴史	『鶴亀』1 「それ青陽の～ 夥し」マデ	『基本の型』1 カマエとハコビ、サシ込ミ、 ヒラキ、角(スミ)取り
第2回 6/13(木)	○謡ってみよう ・謡の音律(音階と間の取り方) ・コトバの謡方	『鶴亀』2 上歌「庭の砂は～ ありがたき」マデ	『基本の型』2 左右、打込、サシワケ 扇の持ち方のいろいろ
第3回 7/4(木)	○観てみよう ・能「鶴亀」の映像を鑑賞 ・鶴亀の背景と鑑賞のポイント	『鶴亀』3 ワキ「如何に奏聞 ～舞ひ給ふ」マデ	仕舞『鶴亀』1 前半部分
第4回 8/1(木)	○考えてみよう① ・能舞台について ・能の分類と夢幻能について	『鶴亀』4 「月宮殿の～ 最後マデ	仕舞『鶴亀』2 後半部分
第5回 9/12(木)	○考えてみよう② ・舞について(無と舞) ・位について(序破急)	『鶴亀』5 全体	仕舞『鶴亀』3 仕舞の発表

※希望者はお稽古を継続し、12月22日、23日の眞謡会大会(国立能楽堂)に参加できます。

お申込み/お問合せ：加藤眞悟 ☎&FAX 045-481-8704 mei@shingo.from.tv